



第30代理事長
大津輝男

- 副理事長
吉田 光宏
渡辺 網紀
杉江 茂男
田辺 博昭
滝沢 孝夫
- 専務理事
荻野 光一
- 事務局長
表 真司
- 第1研修委員長
小堀 英一
- 第2研修委員長
鈴木 高明
- 第3研修委員長
林 邦俊
- 第4研修委員長
増田 平八
- 第5研修委員長
鶴貝 光男
- 第6研修委員長
江原 弘義
- パトロール隊担当委員長
杉田 英久
- マラソン特設委員長
麦倉 伊三
- 監事
岡崎 安彦
池田 之彦
松葉 輝男

見直そう今日の足利
築こう明日の足利を!

スローガン

○会員数 99名
○年会費 100,000円

85年星野年度、86年田中年度と継続されてきた流れを引き継ぎながら、翌30周年での成果へ帰結させるべく、1年間の運動が展開された。運動方針の一番に「研修」を掲げ、友愛義団を中心とした勉強会や時習館構想等、各委員会が熱心な研修を行い成果を得ることができた。また、「組織の活性化および事業展開・運営の見直し」を掲げたが、会員拡大についてはその当時の足利の非常に厳しい状況の中で目標達成までに至らず、残念ながら年度末には多くの退会者を出すに至ってしまった。長い歴史を持つ継続事業文化財パトロール隊・さわやかマラソンについては、今後とも十分な検討と実行の意識づけが必要であり、青年会議所の内部充実を進めなければならないとの認識がなされた。

運動方針の1つとして掲げた「21世紀へ 夢とロマンでつなげよう」の部分では、映画「足利物語」に当時の我々の思いを十分に表現することができた。数々の事業を通じて、「～研修」委員会での組織形態が、翌30周年記念事業を成功に導く体制へ丁寧に繋ぐ重責を果たしたのである。



足利JCの主な出来事

- ◆青少年足利学校「時習館」構想
- ◆映画「足利物語」
- ◆さわやか健康マラソン大会
- ◆勝浦海洋少年団来訪
- ◆30周年実行委員会を設置



足利市の主な出来事

- ◆北郷公民館が開館
- ◆足利市～田沼町公営バスが運行開始される
- ◆じゃぶじゃぶ池に隣接してサイクルランドがオープンされる
- ◆総合運動場内の市営プールが改修された



名誉市民・新居善太郎氏の銅像建立

この年の代表的なニュース

- ◆地価の異常高騰、円高不況、売上税問題
- ◆竹下新政権発足
- ◆JRスタート
- ◆利根川教授にノーベル賞
- ◆天皇陛下が腸の手術
- ◆エイズ問題深刻に

☆流行語

「朝シャン」、「地上げ屋」、「ボディコン」

☆流行歌

- ・愚か者(近藤真彦)
- ・百万本のバラ(加藤登紀子)
- ・人生いろいろ(鳥倉千代子)
- ・STAR LIGHT(光GENJI)
- ・君だけに(少年隊)